

■主な事業

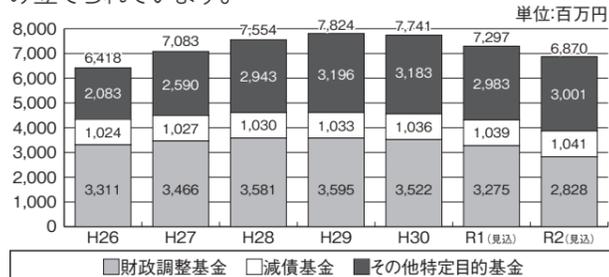
事業名等	予算額	事業名等	予算額
議場会議システム改修工事	2,571万円	家庭ゴミ等処理費関連	2億83万円
シルバー人材センター運営助成金	360万円	農業活性化対策事業関係補助金・助成金	4,025万円
子育て支援商品券発行業務委託	2,154万円	緊急自然災害防止対策事業	4,505万円
若者定住促進新築住宅取得支援事業補助金	3,250万円	林道新設改良工事関連	2億6,640万円
地籍調査事業	4億1,599万円	かわベテニス公園テニスコート上屋整備工事関連	2億4,700万円
町社会福祉協議会助成金	5,000万円	町道新設改良工事関連	7億7,325万円
高齢者外出支援シニアカー購入補助金	44万円	三十木団地合併浄化槽設置工事	1,650万円
ひきこもり者早期社会復帰支援事業	103万円	平スポーツセンター改修工事	2,415万円

*人口減少と地域経済の縮小を克服し、本町経済の持続的な好循環を確立するために策定した「日高川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」関連の主な事業は次のとおりです。

事業名等	予算額	事業名等	予算額
子育て支援商品券発行業務委託【再掲】	2,154万円	子ども医療費	4,080万円
若者定住促進新築住宅取得支援事業補助金【再掲】	3,250万円	子育て支援チャイルドシート購入助成金	65万円
空き家財片付け・改修事業補助金(移住対策)	450万円	農業活性化対策事業関係補助金・助成金【再掲】	4,025万円
出生祝金	335万円	プレミアム商品券補助金	300万円
乳児おむつ助成金	252万円	地域未来塾関連	217万円

■基金の状況

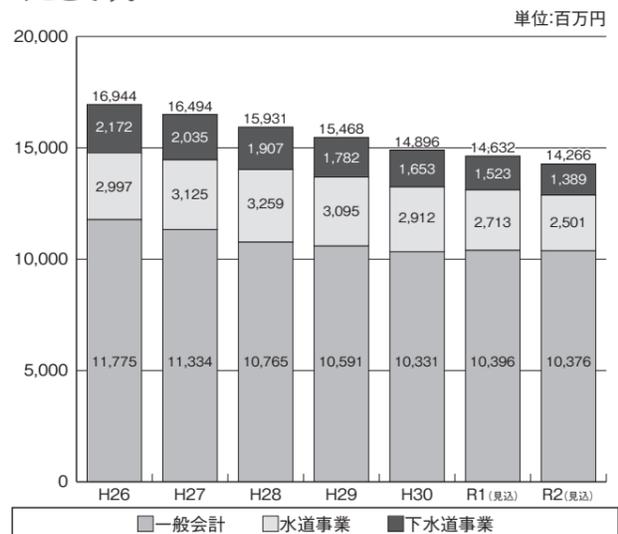
基金は、まちづくりのために貯めたお金のことで、代表的なものに財政調整基金、減債基金があります。財政調整基金とは、経済不況などによる大幅な税収の減少や災害の発生などによる思わぬ支出の増加に備えて、剰余金などを積み立てておく基金で、減債基金とは借入金返済のための基金です。その他特定目的基金とは、特定の目的を計画的に実施するために積み立てた基金で、公有財産管理基金のように施設の整備や維持管理の目的のために積み立てられています。



※上記の基金は、普通会計に属する基金です。

■地方債残高の状況

地方債は、いろいろな施設整備等のために借りたお金のことで。



※簡易水道事業特別会計は、H29より水道事業会計になっています。

■令和2年度 一般会計・特別会計 当初予算

一般会計は、そのまの中心となる会計で、基本的な行政運営経費を経理する会計です。特別会計は、特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別して個別に経理する会計です。各会計ごとの予算額は右表のとおりです。

会計	令和2年度	平成31(令和1)年度	比較増減
一般会計	86億7,500万円	85億4,500万円	1億3,000万円
特別会計			
笠松農業用水及び公共用水管理運営	198万9千円	208万8千円	▲9万9千円
国民健康保険事業	14億5,581万1千円	14億5,896万円	▲314万9千円
国民健康保険事業川上診療所	1億424万1千円	1億55万8千円	368万3千円
国民健康保険事業寒川診療所	6,179万9千円	6,292万3千円	▲112万4千円
後期高齢者医療	2億9,207万7千円	2億8,080万9千円	1,126万8千円
介護保険事業	13億2,083万2千円	12億9,699万9千円	2,383万3千円
下水道事業	3億3,748万1千円	2億8,975万3千円	4,772万8千円
川上財産区	39万8千円	53万5千円	▲13万7千円
寒川財産区	60万円	61万円	▲1万円
合計	122億5,022万8千円	120億3,823万5千円	2億1,199万3千円

令和2年度 日高川町水道事業会計 当初予算

会計	令和2年度	平成31(令和1)年度	比較増減
収益的収入	2億2,910万8千円	2億3,590万2千円	▲679万4千円
収益的支出	3億5,467万8千円	3億7,610万2千円	▲2,142万4千円
資本的収入	2億6,563万9千円	2億2,772万円	3,791万9千円
資本的支出	3億2,814万円	2億6,241万6千円	6,572万4千円

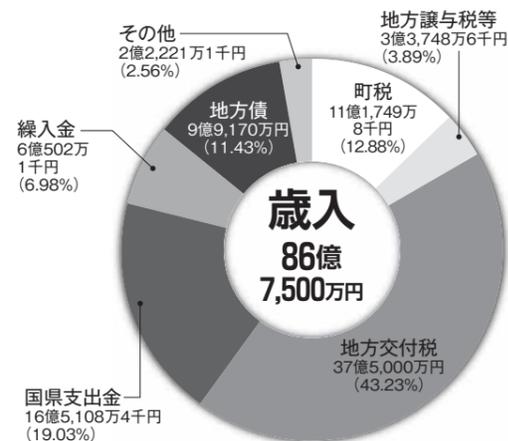
令和2年度 当初予算の概要

予算は一会計年度の経費とその財源を示した財政上の計画として、歳入・歳出を体系的に整理したものであり、1年間の行動計画・政策を財政面から明確にするものです。

令和2年度当初予算につきましては、前年度より1億3,000万円

増額の86億7,500万円となりました。本年度におきましても普通交付税の減額が見込まれる厳しい財政の中で、経費節減に努めながら補助金の確保等創意工夫して財源確保に努め、人口減少対策として若者定住支援や子育て支援、産業振興や高齢者支援など積極的に取り組み、従来からの継続事業を怠りなく実施し、住民負担軽減のための施策などの財源措置も行っています。引き続き堅実な財政運営を目指していきます。

一般会計



歳入総額(86億7,500万円)

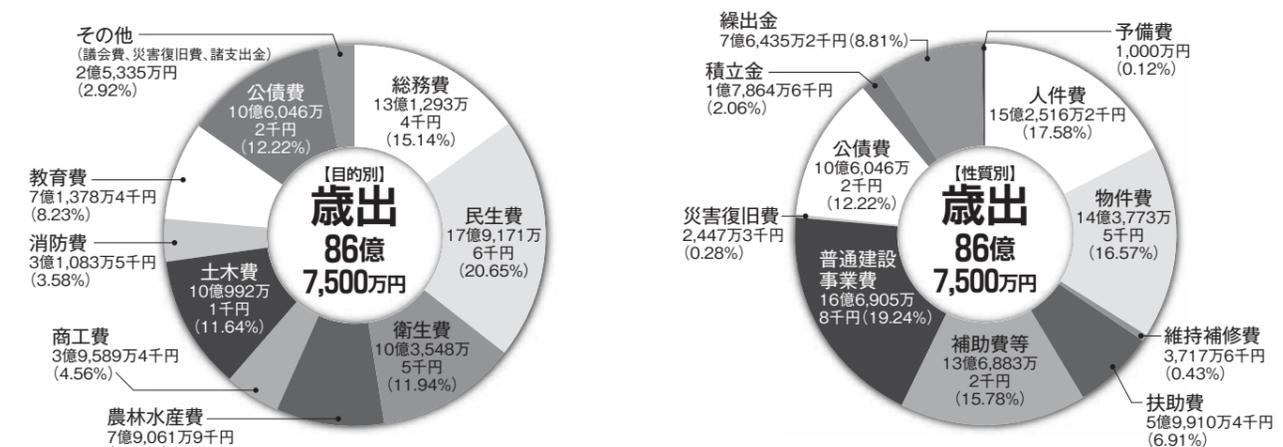
町税は、昨年度と比較し1,648万3千円の減額を見込んでいます。地方譲与税等では、森林環境譲与税で5,728万6千円、地方消費税交付金で2,000万円の増額要因が大きく、全体で5,528万6千円の増額を、地方交付税では、普通交付税の一本算定に向けた縮減により5,000万円の減額を見込んでいます。国や県の補助金を活用して各種事業を積極的に計画していることから国県支出金で1億6,896万1千円の増額と、各種事業実施に伴い特定目的基金の繰入れや財政調整基金の繰入れ、地方債の借入を見込んでいます。

用語解説▶▶▶[歳入]

- 町税…町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税、入湯税など住民の皆さんから町へ納めていただく税金です。
 - 地方譲与税…国税や県税として徴収され、町に譲与されるお金で、自動車重量税とあります。
 - 地方交付税…市町村が一定水準の行政サービスを維持できるよう、財政力に応じて、国から交付されるお金。所得税、消費税などの国税の一部から地方公共団体に再配分されます。
 - 国県支出金…特定の事業の財源として、一定の割合で国や県から補助されるお金です。
 - 繰入金…基金を取り崩したお金です。
 - 地方債…道路整備などたくさんのお金が必要な事業を実施するときに借り入れるお金です。
- ※入湯税(見込額:283万円)は、観光振興施策の財源に充てています。※地方消費税交付金の社会保障財源(見込額:6,600万円)は、社会保障施策の財源に充てています。

歳出総額(86億7,500万円)

歳出予算では、かわベテニス公園テニスコート上屋整備工事等の事業進捗に伴う縮減により普通建設事業費で1億8,929万4千円の減額や、公債費の償還満了において8,541万5千円の減額があるものの、人件費においては、会計年度任用職員制度の導入により増額となりました。施策としては、従来の施策を継続しつつ、本年度においては在宅血液透析導入に係る機器設置補助、高齢者外出支援シニアカー購入補助や在宅高齢者等訪問理容等サービス事業助成等の新たな取り組みの予算を計上しています。



用語解説▶▶▶[歳出(目的別)]

- 総務費…行政全般の事務などの費用
- 民生費…高齢者、児童、障害者等の福祉向上に関する費用
- 衛生費…健康診断などの保健事業、ごみ・し尿処理などの環境衛生の費用
- 農林水産費…農業、林業などの振興のための費用
- 商工費…商工業、観光の振興のための費用
- 土木費…道路、橋、住宅など各種公共施設の建設、管理の費用
- 消防費…消防、防災に関する費用
- 教育費…学校教育、社会教育、スポーツ、文化財保護に関する費用
- 公債費…借入金の元金・利子の費用

用語解説▶▶▶[歳出(性質別)]

- 人件費…町長等特別職、職員、議員、各種委員などに支払われる報酬、給与など
- 物件費…施設の光熱水費や消耗品費、委託料など
- 扶助費…社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障害者等を援助するための費用
- 補助費等…いろいろな団体への活動助成金や、他市町村と共同で運営する組合への負担金など
- 普通建設事業費…道路、橋、学校等の建物など社会資本整備のための費用
- 積立金…町が所有する各種基金への積立
- 繰入金…建設費用や事務費などの補助のために一般会計から特別会計へ支出される費用